

「（仮称）鎮魂の森整備事業」の進捗状況をお知らせします。

～はじめに～

町は、東日本大震災津波に関する町全体の「追悼・鎮魂」の場とするとともに、町民が日常的に集い、憩い、交流の場として永く親しまれながら、森を育てていくことを通じて、「被害と教訓」、「復興への想い・感謝」と「希望」を将来世代にメッセージとして伝え続けていくことができるような場を整備することを目的とし、「（仮称）鎮魂の森整備事業」を進めています。

本紙は、現在の事業の進捗状況をお知らせするものです。今後は、工事設計等を経て、令和5年度中の竣工を目指しています。

■基本理念 ※「（仮称）鎮魂の森基本計画」（H30.8月策定）で掲げた基本的考え

- 大槌町内で東日本大震災津波の犠牲となられた全ての方への追悼・鎮魂のために
- これからの町民に伝え続けていくために
- 大槌町の被災に心を寄せ、復興を支援していただいた全ての方のために

■基本方針 ※基本理念を実現するための基礎的な方針

I. 犠牲者への追悼・鎮魂

犠牲者を想い、祈る町全体の追悼の場を整備する。

II. 震災津波による被害と教訓の伝承

震災津波の脅威を正確に永く後世に伝えていくための場を整備する。

III. 復興への想いの継承

復興への想いを継承するとともに、支援への感謝を忘れないための場を整備する。

IV. 憩い・交流空間の形成

日常的に多くの人が集まり、交流や伝承ができる場を整備する。

基本方針を踏襲しつつ、現状に即した計画に変更

変更内容は裏面をご覧ください

■ご意見・お問い合わせ先



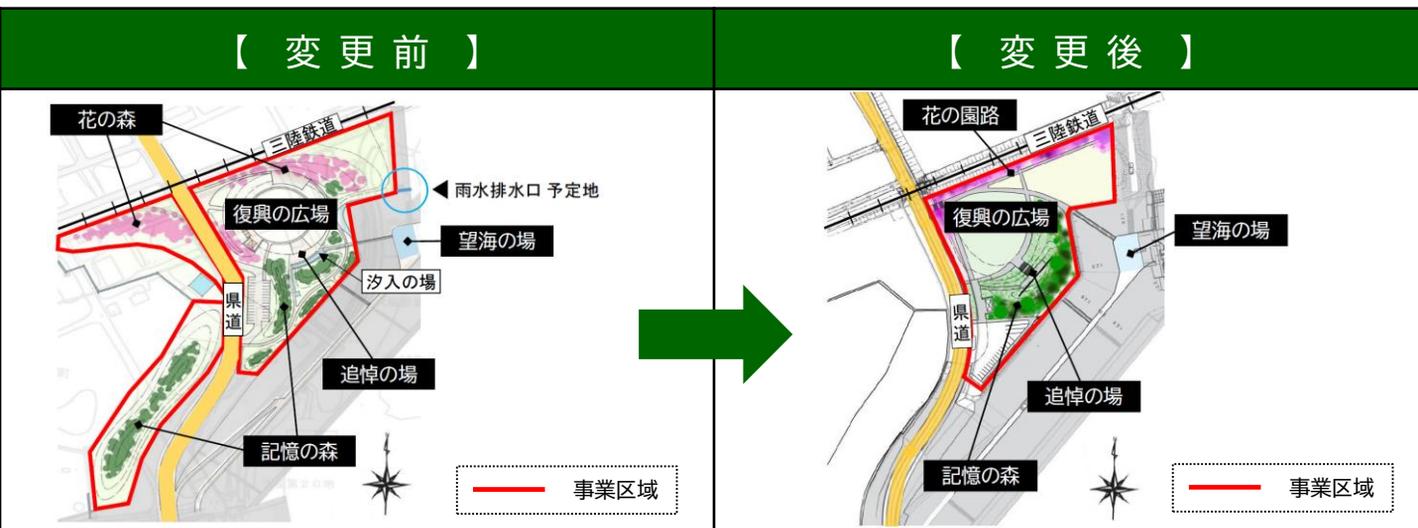
大槌町 協働地域づくり推進課

電話：0193-42-8718(直通)

震災伝承推進班

mail：densyo@town.otsuchi.iwate.jp

1. 基本計画図（イメージ図）の変更内容



1) 事業区域

・高上げされた市街地に接し、周知を防潮堤、県道、三陸鉄道等に囲まれた面積約2haの区域を、**面積約1.5haに変更**します。

[理由]①地域住民からの要望を踏まえ、県道復旧工事（県工事）において県道地盤高が当初計画より高くなり、県道と事業区域に高低差が生じ、西側区域と東側区域の一体性を図った空間構成が損なわれたため。

②歩行者の安全面を配慮し、県道を横断することなく、利用者の安心安全な施設利用を提供するため。

2) 追悼の場

・遺族アンケート調査や町民意見交換会の意見を踏まえ、地盤高は津波シミュレーションに基づいて、**芳名板などが津波浸水しない高さに変更**します。

3) 復興の広場

・県が防潮堤に整備を計画していた大槌川への雨水排水口を利用し、湧水と海水が交じり合う“汐入の場”を設ける計画としていました。しかし、小鎗川沿いに既設された排水口で排水処理が可能なが判明し、県では大槌川への雨水排水口を設置しないこととされたことから、**“汐入の場”を設けない広場に変更**します。

4) 花の園路【新規】

・鉄道用地に腹付け盛土した場合における影響を調査したところ、鉄道用地への荷重負荷が発生することが判明し、当初計画していた腹付け盛土は実施することができず、樹木の植栽に必要な2～3mの植栽基盤厚も確保することができなくなりました。そのため、鉄道用地に接した事業区域内に**花を中心とした植栽の場を設けることに変更**します。

5) 記憶の森

・変更前の「花の森」の計画と統合し、市街地側の森は、四季の移ろいを感じられる広葉樹などの樹種とし、防潮堤側の森は、かつて（昭和30年代頃）事業区域付近で存在したマツなどを主体とした**2層による植栽の場に変更**します。

6) 望海（のぞみ）の場 ※変更ありません。

・防潮堤の上で、海や復興を成し遂げた市街地を望む場。

2. 「芳名板」に係る整備方針の変更内容

【変更前】	【変更後】
<p>町は、令和2年3月に実施した遺族アンケートの調査結果などを踏まえ、追悼の場に設置予定である「芳名板」の整備方針を令和2年8月に決めました。</p>	<p>芳名板設置後に犠牲者御遺族の意向などによって、芳名板の並び替えが生じる可能性があり、設置後の並び替えに対応するには「加除式」が最も妥当であるため、整備方針で掲げた「固定式」を「加除式」に方針変更を提案するものです。</p>
<p>▼「加除式」のイメージ写真</p>	<p>▼「加除式」のイメージ写真</p>
<p>[方針内容]</p> <p>①芳名板は、基盤に直接御芳名を刻む「固定式」で設置し、「常時公開」で名前を記す。</p> <p>②記名設置後に非公開を希望された方への対応は、あらかじめ基本設計で検討する。</p>	<p>[方針内容]</p> <p>芳名板は、後から芳名追加や取り外し、また並び替えが可能な「加除式」で設置し、「常時公開」で名前を記す。また、仕様は、芳名板に相応しく「固定式」にも見劣りしないもので、堅牢性を保持し、恒久的なものを基本設計であらためて検討します。</p>